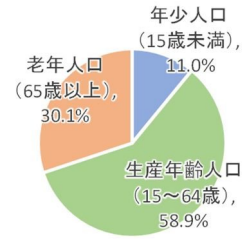


	世帯数	人口	年齢別人口
現在	115 世帯	318 人	15 歳未満 (年少人口) 35 人
			15～64 歳 (生産年齢人口) 188 人
			65 歳以上 (老年人口) 96 人
約 50 年前	76 世帯	333 人	



歴史等

古代律令制では播磨国神前郡川辺里、中世は田原荘に含まれたと考えられます。地名の由来については、古老の話によると、神積寺が一条・三条両天皇の勅願寺院であったため、京都から勅使が度々遣わされており、その勅使の宿所となった勅使寺(長目にあったとされる)に対して、昔、八反の田が寺領地として寄進されたので、「八反田」という名前がついたと伝わります。

近世は豊臣氏の領地となった後、慶長5年(1600)からは姫路藩領となり、大庄屋組では、はじめは八反田組、寛延2年(1749)の一揆では、当村の八反田組大庄屋奥平家が打毀に遭い、寛延3年(1750)からは辻川組に属しました。明治9年(1876)に南田原村の一部となりました。なお、1910年代から1930年代にかけて、群馬や静岡の師範学校の校長を務めた奥平覚治先生は八反田出身の人です。



八坂神社



八坂神社千年松



一字一石塔 (八反田公民館前)



石棺 (八反田公民館横)



秋祭り・屋台



夏祭り (八反田・長目)

※現在の人口・世帯数・年齢別人口は令和4年5月末時点、10年間の人口・世帯数の推移は各年5月末時点、約50年前の人口・世帯数は昭和52年6月末時点であり、いずれも住民基本台帳による値です。なお、年齢別人口のみ外国人を含む値になっています。

歴史文化遺産一覧

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり											
				①	②	③	④	⑤	⑥						
建造物	建築物	1	八坂神社拝殿	大正期	木造平屋建、瓦葺。近代の神社建築。							●			
	石造物	2	地藏菩薩坐像（八坂神社）	宝暦13年か（1763）	地藏菩薩の石仏。台座正面には「宝暦十三 七月」と記されているが、その他の文字は判読できない。上の坐像は後世のものと思われる。								●		
		3	六地藏（八反田北墓地）	文化13年（1816）	六体の地藏菩薩の石仏。うち1基の正面には造立年月、別の1基の正面には施主が記されている。								●		
		4	一字一石塔（八反田公民館前）	文政4年（1821）	一字一石塔。正面には「法華塔」、右に施主、左に造立年月日等が記されている。								●		
		5	経典供養塔（八反田公民館前）	弘化3年（1846）	経典供養の石塔。正面には「大乘妙典一千部供養塔」、右に願主、左に造立年月日等が記されている。								●		
		6	一千ヶ寺修行之塔（妙見の森）	嘉永5年（1852）	石塔。正面には「南無妙法蓮華経 一千ヶ寺修行之塔」など、左に造立年月日等が記されている。								●		
		7	石灯籠（八坂神社）	大正12年（1923）	左右一対の石灯籠。左右ともに正面に「献灯」、背面に造立年月が記されている。								●		
		8	手水石（八坂神社）	大正14年（1925）	手水石。右に「発起人 婦人会」、左に造立年月が記されている。								●		
		9	狛犬（八坂神社）	大正12年（1923）	石造の狛犬。								●		
		10	石棺（八反田公民館横）	不明	刳抜石棺の棺身と思われる。								●	●	
美術工芸品	絵画	11	源義平（悪源太）と平重盛の一騎打ち図（八坂神社）	大正12年（1923）	奉納者は「神戸鉄道郵便局員」とある。紫宸殿前の一騎打ちの図。108.5×151.5 cm。				●			●			
		12	曳馬図（地藏堂）	不明	奉納者は「当村願主午年男」とある。35.5×41 cm。				●			●			
	書跡・典籍・古文書・歴史資料	13	八反田区有文書	—	50件（点数不明）。					●					
有形の民俗文化財	祭具	14	屋台（八反田区）	—	布団屋根型屋台。屋台を差し上げる際、太鼓は3拍子で他の地区より1回多く太鼓を鳴らし、しなやかで龍が舞っているように見せるという、昔からの伝統を守っている。								●	●	

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

八反田

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
無形の民俗文化財 年中行事・民俗芸能	15	秋祭り（田原）	—	田原地区の屋台 12 台（布団屋根型 10 台、神輿屋根型 2 台）・神輿 1 台が熊野神社に集まる。本宮では、各屋台が鳥居をくぐった後に拝殿前で差し上げを行い、境内を回った後、拝殿の裏を回り定位置に据えられる。屋台の宮入りが終わると境内中央の舞台で浄舞、浦安の舞が奉納される。			●	●		●
	16	斎灯	—	2月3日に八坂神社で行われる。				●		
	17	涅槃会	—	2月15日に公民館で行われる。				●		
	18	花まつり	—	5月8日に公民館で行われる。				●		
	19	祇園さん	—	7月7日に八坂神社で行われる。現在は神事のみとなっている。				●		
	20	湯立て	—	7月海の日に長目区に位置する藤田神社で行われる。				●		
	21	盆祭り	—	8月23日前後の土曜か日曜に公民館で行われる。				●		
	22	地藏祭（地藏盆）	—	8月23日前後の土曜・日曜に公民館で行われる。				●		
遺跡	散布地・集落跡・生産遺跡等	23	南田原条里遺跡	弥生時代～奈良時代		●				
動物・植物・地質鉱物	植物	24	千年松株（八坂神社）	—			●	●		
その他	信仰の場	25	八坂神社	—				●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

歴史文化遺産の保存・活用の取組等

- ・ 傷みが激しい千年松の切株を、災害の記念として平成 17 年（2005）に修復し、保存のための覆い屋を設置しました。
- ・ 屋台保存会、青年団により、屋台の定期的な修理・保存を実施しています。



千年松の切り株の保存